

(様式)

藍畑小学校：「学力・学習状況」改善プラン

1 学力向上推進員 職・氏名 (指導教諭 堂前孝司)

2 学力向上検討委員会構成

職名	氏名
校長 (教務主任)	高橋 悟次
指導教諭 (特別支援)	橋本 順孝
教諭 (低学年)	堂前 孝司
教諭 (中学年)	宮本 範子
教諭 (高学年)	石川 美佐子
	武立 隆英
	山川 育英

3 現状・課題

学力	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習や生活におけるアンケート」の結果、「学校がすごく楽しい・まあまあ楽しい」「授業がわかる・だいたいわかる」と答えた児童の割合は共に90%を超えている。しかし、自ら課題を見つけ、自分なりの考えをもち問題解決をしていく力や思考力・表現力はまだ十分に身につけていない。 ・昨年は1学期より週2回、各学年ごとに四則計算のプリントを朝の活動時間に実施した。週2回同じプリントをし、1回目で間違った問題は正しく直しをして、2回目には誤算が少なくなるように取り組んだ。ドリルの時間は集中して取り組むことができ計算練習を繰り返すことで苦手意識が薄れる児童も増え、効果があることを実感できた。 ・「平成22年度全国学力調査」の本校の結果を全国のデータと比較すると、国語では、知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や課題解決のための構想を立てて実践し評価・改善する力などに課題がある。算数については、全国平均を11.4ポイントと大きく上回っているが、筋道を立てて考え数学的に表現することに課題がある。
学習状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーテレビデーの実施を守れたのは36%・毎日、新聞を読むは28%と低い。テレビやビデオを見たりゲームをしたりする時間を改善するよう指導する。また、新聞を活用した家庭学習に取り組めるようにしていく。ノーテレビデーの家庭への啓発が単発的で継続性がなかったため、今後の課題として改善していきたい。

4 目標等

(1) 学力について

重点目標： 学び方を学び、自ら学習する力を育成する。				
具体的目標	数値目標	具体的方策	評価	改善点
自ら進んで読書ができるようにする。	毎月の読書冊数 (低10冊・中7冊・高5冊) を達成できるようにする。	毎月の読書冊数を達成できるように、読書カードに記録して進んで取り組めるようにする。	4・3・2・1	
言語活動の充実を図る。	全ての教科等において、書く・話す活動の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・体験から感じ取ったことを言葉などで表現する。 ・互いの考えを伝え合う。 ・事実を正確に理解し、記述・報告する。 	4・3・2・1	
「わかる・できる・楽しい授業」にするための工夫改善をする。	単元テストや小テストの正答率を80%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> 各学年での漢字の読み書き・算数の小テストを継続的に行う。 自ら問題を発見し、自分で解決できるように問題解決学習を行う。 TT指導を中心として、個に応じた指導方法の工夫を行う。 	4・3・2・1	

(2) 学習状況について

重点目標： 児童が家庭でも進んで学習する習慣を育てる。				
具体的目標	数値目標	具体的方策	評価	改善点
個に応じた家庭学習の習慣を確立する。	家庭学習の時間を、「1日、10分×学年」時間以上行う。	見るテレビ番組を家庭で話し合っ て決め、1日2時間以内にする。また、月に1回ノーテレビデーを実施する。 家庭学習の手引きの見直しをし、家庭と連携しながら支援を いていく。		
			4・3・2・1	

※評価欄の上段には、各具体的目標における数値目標の達成状況について記入する。下段には、達成状況を「4 十分できた 3 概ねできた 2 あまりできなかった 1 できなかった」で判断し、該当番号に○を付ける。